

7月7日 太田市のデジタル化に向けての活動(スマホ・パソコン相談室)が総務省の「自治体DX推進手順書参考事例集」で紹介されました。



市内NPO法人に委託し、市民のスマホ・パソコン相談を実施

概要(群馬県太田市)

- 平成16年度から、市民のITリテラシーの向上に資するため、市内のNPO法人（おおたIT市民ネットワーク）による市民向けの相談室を開設している。
- 市役所内の情報センターで、市民の誰でも気軽にスマホやパソコンに関する相談をすることができる。また、出張相談として、市役所以外の場所でも相談が可能。

開設日時：平日 9時30分～12時30分（祝日、年末年始を除く）
対象者：太田市内に在住または在勤、在学する人
相談員：NPO職員（常勤2名）
相談料金：無料
相談内容：PC・スマホの初期設定、ソフトウェアの利用方法等
相談実績：1,120人（R1年度）
※出張相談を除く。



受講風景

「自治体DX推進手順書参考事例集」とはDXの取組みについて先行する自治体の事例を集めたものです。自治体におけるDXとは、従来アナログで運用していた業務やデータをデジタル化して共有することで、さまざまな機関や企業、地域住民が有効活用して社会的な課題解決につなげる取り組みのことです。自治体におけるDXの具体例としては、各種行政手続きのオンライン化やマイナンバーカードの活用などが挙げられます。

DX: Digital Transformation

デジタル・トランスフォーメーション

Xを使うのはTrans- がアルファベットのXで表現されるからです。

他の自治体の事例は下記のURLをクリックして参照してください。（左図は44頁です）

自治体DX推進手順書参考事例集【第1.0版】

（令和3年7月7日）

www.soumu.go.jp/main_content/000759086.pdf